

④学習課題（中学校2年生）

【数学】

<内容>

身のまわりの問題を、連立方程式を利用して考えてみよう。（教科書 P58 問2）
～5人の班と4人の班、それぞれのいくつにすればよい？～

<取り組み方>

- ① 教科書 P58 の問2について、問題の中にある、数量の関係を見つけ、線分図に表してみよう。また、その図をもとに、数量の関係をことばの式で表してみよう。
- ② 分からない数量を文字を使って表し、①でつくったことばの式から連立方程式をつくってみよう。
- ③ ②でつくった連立方程式を解いてみよう。
- ④ ③で求めた連立方程式の解が問題に適しているかどうかを確かめ、班の数をいくつにすればよいか答えよう。

<学習のヒント>

- ① 教科書 P57 の線分図やことばの式を参考に書いてみよう。班の数の関係や人数の関係に注目して、それぞれの等しい関係を見つけよう。
- ② 1つの文字で式をつくることもできますが、ここでは、2つの文字を使って式をつくってみよう。
- ③ 自分が解きやすい解き方で解いてみよう。
- ④ 連立方程式の解が問題の答えとしてふさわしい値になっているか、解を代入するなどして必ず確認しよう。解が小数や分数、負の数でもよいのか、式のつくり方や計算に間違いがないかなどについて調べてみよう。
余裕のある人は、教科書 P63 の Tea Break を参考に、解の確かめはなぜ必要かについて考えてみよう。